

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	2 章 安全・安心で快適な住みよいまち（都市基盤の整備）			
	施策（大柱）	5 節 上水道	H20 実施計画事業費合計	1,336,775 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 水資源の確保		69,271 千円	
		2 安定供給の充実		1,267,504 千円	
		3 水資源の有効利用		0 千円	
				千円	
		千円			
施策に関する所属	水道部				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○湯水や災害に備え、自己水源の保全に取り組む。 ○老朽化した配水管などから耐震性のある管への布設替を行い、災害に強い水道づくりを進める。 ○水資源の有効利用のため、漏水調査や節水意識の普及に取り組む。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○水資源の確保 自己水源の確保・保全に取り組むとともに水源地の涵養・保全などを国等に要請する。 ○安定供給の充実 耐震性のある管への布設替、拡充・改良に取り組むとともに、浄水場等の点検・整備など維持管理体制の充実を図り災害に強い水道づくりを進める。又、湯水・災害時等に供給水量を確保するため、取水井の揚水能力の維持につとめるとともに、漏水防止対策として計画的に漏水調査を実施する。 ○水資源の有効利用 限りある水の大切さなどをPRし節水意識の普及を進める。
	3) 分野別計画、指針
	○中期経営計画

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	職員数	人	124	120	119
給水戸数	戸	137,895	139,577	141,684	
配水量に占める県水の割合	%	92.11	93.19	91.67	
年間配水管布設延長	m	16,330	14,809	15,018	
道路漏水件数	件	345	265	305	

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
110301 導・送・配水管整備事業	整備された配水管延長	今までの布設及び布設替延長の累計	m				110,000
110401 漏水に伴う給水管布設替事業	有収率	有収水量/配水量	%	100	98	98.0	100
110402 配水管漏水防止事業	有収率	有収水量/配水量	%	100	98	98.0	100
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一・中柱」に位置づけられたものが記入されます。							

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】耐震性のある管への更新率 災害に強い水道づくりへの取組状況を示す指標	%	年度	目標値	81.6	100.0			年度
			実績値	93.7	99.5	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値	
		%	72.4	達成率	114.8%	99.5%			年度
			年度	目標値					年度
		%	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値
			達成率						年度
%	年度	目標値					年度		
	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値		
%	達成率						年度		
	年度	目標値					年度		
%	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値		
	達成率						年度		

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
○南部浄水場P C配水池耐震補強工事 ○西部浄水場法面改修工事 ○北野・山口加圧ポンプ場非常用発電設備設置工事

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
水道普及が急速に進んだ時代に整備された水道施設の更新及び再構築	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標） 方向性	2) 平成20年度における目標設定	達成水準（どこまで）		時期（いつまで）
	今期目標項目（何を）			
	地域水道ビジョンの作成	今後10年間の水道事業の施策の方向性を示す		20年度末
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）				
水道普及が急速に進んだ時代に整備された水道施設を、耐震性の強い施設に更新、再構築していく。衝撃に弱いとされている石綿セメント管、鑄鉄管の布設替えが終了し、今後は経年配水管等の布設替えや浄水場施設の耐震化を進めていく。				
評価日	平成20年7月29日	記入者職氏名	水道部	